

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 6年 6月 1日

事業所名 ばびるすきず

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・様々な活動にあわせて環境設定を行っている。	・活動内容によるレイアウトの工夫を行っている。
	2	職員の配置数は適切である	○		・利用児童に応じた人員を確保している。	・利用児童により作成するよう心掛けている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		・意見を出し合い都度検討している。	・まずは見学に来て頂いて対応面の説明をさせて頂いている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		○	・ケース会議の実施を行っている。	・ケース会議等を開き全職員への参加を呼び掛けたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・面談等での意見・要望を反映させている。	・改善された事案を書式化することも重要。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・	・ホームページ上で公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		・	・第三者による外部評価も検討もしていきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・月1回外部研修(動画)により研修を行い、資質向上に努めている。	・虐待防止や発達障害への知識・支援の在り方等研修を行っている
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		・契約時の聞き取り調査の貴重な時間を大切にしている。	・保護者の意見やお子様の意見を踏まえた計画書を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・アセスメントツールは皆で共有し意見交換している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている		○	・活動プログラムの有効活用に至っていない。	・集団活動内容の検討
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している		○	・活動プログラムの有効活用に至っていない。	・個別活動及び集団活動内容の検討
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		・時間を決めて課題を行ったり、長期では午前中に課題時間を決め午後からは集団行動できる課題を決めている。	・午前、午後と職員の配置を変えて行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成している	○		・利用児童の個人差に応じた集団活動の実施に至っていない。	・書籍や他事業所等の情報収集も重要である。 ・個別支援のニーズの強い方は、個別活動が優先されている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・その日に行う課題や送迎の確認等を行っている。	・登所後のタイムスケジュールを確認を本人と行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・支援の終了時に体調面や精神面・支援内容を共有している。	・業務連絡簿を明確に記入することで、職員間で情報を共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・HUGを通じた発信・受信で、情報交換がなされている。	・HUG(保護者との情報交換サイト)のさらなる有効活用。
関係機関や保護者との連携	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		・定期的モニタリングを行い、家族様や本人の意見を取り入れて見直しをしている	・保護者や本人からの要望や意見は都度伝えあい、改善に努めている
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○			・支援活動内容をもっとわかりやすい内容に改善したい。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・児童発達支援管理責任者が会議や電話等で参加している。	・会議での情報は職員間で共有している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		・学校の先生方との情報交換も、保護者を通じて密に行っている。 ・送迎の際も情報交換を大切にしている。	・要望に応じて当所での活動記録書等の作成を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		・現在、医療的ケアの児童がいない為できていないが、今後連絡体制や心身の状況等を密に意見交換をしていきたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		・情報を求められた際に的確に伝えられるように、日ごろから活動内容をまとめている。	・職員間で支援内容や成長過程の変化は共有している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		・現在対象児童はいない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・児童支援センターとの情報交換は明確に伝えられるよう活動記録をまとめている。	・まとめた活動記録書は職員間で共有している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	・当所以外の子供との活動は現在行っていない。	・今後試案していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		・協議会への積極的な参加には至っていない。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・HUGを通じた発信・受信で、情報交換がなされている。	・保護者からの発信も多く受け止められるように努めていきたい。	

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		・保護者からの子育てに関する質問等は、できる限りの時間と情報の提供に努めている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・見学時や契約時に説明を行っている。	・家族様が分かりにくい内容等は丁寧に説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			・子育ての悩みに対する相談等は、時間を設けて当所にて連携支援を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	・保護者会を希望されていない方が多い。	・個人情報面を配慮しながら対応している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・児童発達支援管理責任者が主体となり対応している。	・迅速かつ適切な対応を心掛けている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		・会報等の発行は行っていない。
	35	個人情報に十分注意している	○		・契約時に同意を得て留意している。	・外部への情報発信は最大限に配慮している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・絵カード等の視覚化で表現を行っている。	・個々に合わせた支援のミーティングを行う。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	・地域交流には至っていない。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○	・緊急時対応マニュアルは作成しているが説明が出来ていない。	・随時、説明を行っていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○	・避難訓練を行っている。	・避難訓練を行っているが保護者様に事前の連絡をしていない。・多くの児童での避難訓練が出来ていない。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・定期的に研修会を行い意見交換している。	・日頃から職員間で注意し合える環境づくりに配慮している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○	・身体拘束の可能性のある利用者は在籍していない。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		・契約時にアレルギーに関する情報も記入して頂いている。	・職員間で情報を共有し合い対応を留意している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・ヒヤリハット報告書は綴られている。	・研修会等で情報を共有している。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。